

第3期 中部WIN 第2回開催レポート

開催日時: 令和2年8月18日(火) 13:30～16:30

「日本経済社会の現状と課題」

トヨタ自動車株式会社 取締役 菅原郁郎氏

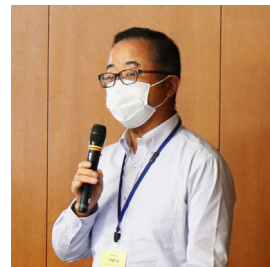
「100年に一度」が頻繁に起こる時代となった。

COVID-19の危機では、通常では10年先だったライフスタイル・企業活動・社会情勢の変化が前倒しされることとなった。

世界においては、新興国の影響力の拡大やグローバル資本主義の終焉といったパワーバランスの変化と労働代替の世界規模での進行のような技術進化による大激変の可能性という2つの潮流変化がおきている。

一方、国内に目を向けると、少子高齢化・社会保障(年金、医療、介護)制度と教育制度の不適合や人生60年モデルの直線型人生から人生100年モデルの多様な選択が許される人生への変化による将来不安がある。既存の制度の抜本改革が不可欠。

コロナはいずれ収束するが、経済社会の矛盾はむしろ拡大するため、危機対応モードにある今こそが絶好のチャンスであり、今の短期課題をどう乗り越えるのか、にプラスして、中長期の課題にも取り組んでいけるかが重要。企業活動で生き残れるのは、短期と中長期の二正面同時決戦の勝者のみ。



リーダー取組紹介

トヨタ自動車株式会社 人材開発部海外労政室 室長 斎藤万里氏

できなかったことができるようになるとうれしい、と考えて行動している。また、

- ・ダイバーシティの推進: 理想はお互いが尊重しあう組織、「みんなちがってみんないい」。社員は褒めて伸ばす。多様性を生かすことが企業の成長・発展を促す。
 - ・インプットなくしてアウトプットなし: 隙間時間に新聞などももっと時間をかけて読みたい。
 - ・自分は何ものでもない: メンバーに感謝、上司に感謝。人に自分の価値を押しつけない。
 - ・自分でも大丈夫と信じ込む: 昇格にしり込みする女性社員の背中を押す。また、上司としてバックアップ、フォローをしっかり行う気概を見せる。
- ということも実践できるように努力している。



グループワーク

第1回で決定した各チームのリーダー、サブリーダーと、テーマの方向性が発表されました。

各チームごとにオンラインでディスカッションを行い、テーマ決定に向けブラッシュアップを行いました。

